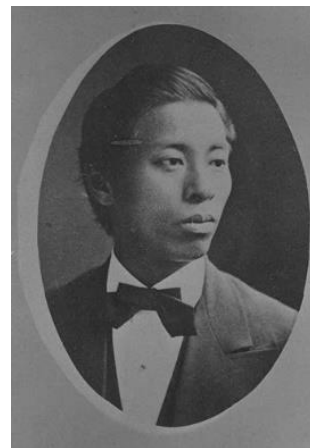
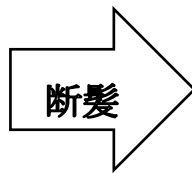


岩倉具視米欧使節団 ◆明治4年11月(1871)～6年9月(1873)◆

横浜から米国へ出発し、イギリス、フランス、ベルギー、オランダ、ドイツ、ロシア、デンマーク、スウェーデン、イタリア、オーストリア、スイス を訪問。

各国で宮殿、公園、主要施設、万国博覧会を見学



持ち帰った「写真帳」

パリ ベルサイユ宮殿



国宝迎賓館「赤坂離宮」



宮内省内匠寮 技監 片山東熊

内匠寮 内苑課長 福羽逸人



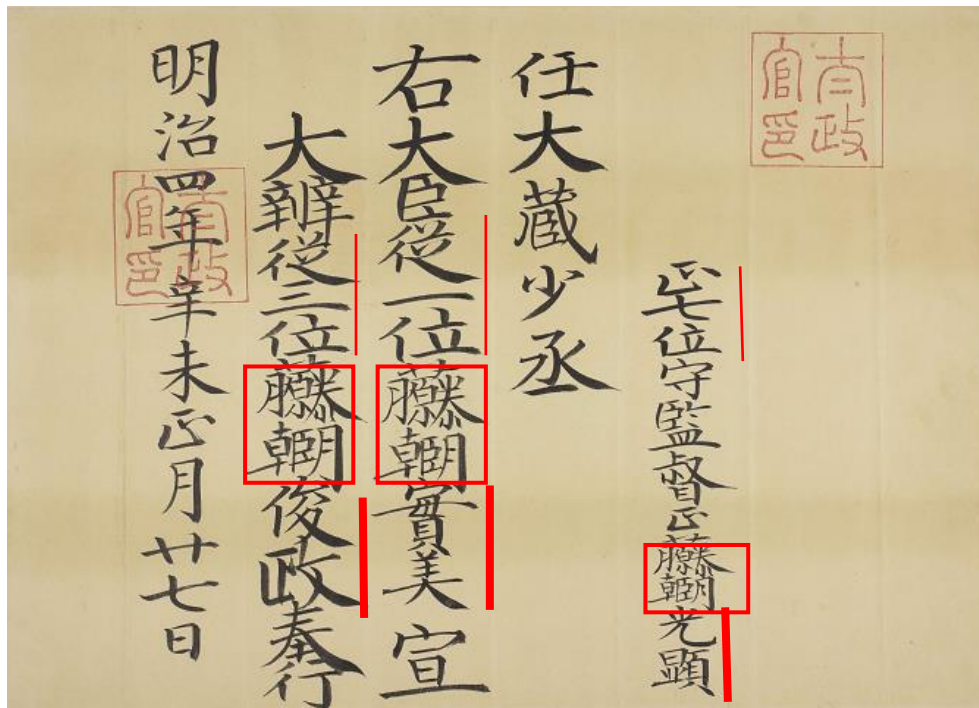
『赤坂離宮七不思議』 前迎賓館長 小林 秀明 抜粋

このため西洋宮殿風の明治宮殿の建設を提唱し、挫折した人達が、その後計画された新東宮御所においてその夢を実現しようとしたものと思われます。その中心人物がジョサイア・コンドルの4人の直弟子の一人、片山東熊でした。彼は、長州出身で、若い時に高杉晋作の奇兵隊に属していた勤王の志士でした。その後、建築の道を志し、工部大学校（現在の東京大学工学部の前身）に入学して、ジョサイア・コンドルの門下生となりました。

しかし、片山東熊一人では、その夢を実現することはできなかったでしょう。煉瓦造りの西洋風宮殿の建設に対しては、費用や耐震性の見地から、反対論も強かったからです。ところがそこに強い味方が現れました。平成22年のNHK大河ドラマ「竜馬伝」にもあらわれた**田中光顕（みつあき）**です。土佐藩士の彼は、武市半平太の尊王攘夷運動に傾倒し、後に脱藩して長州に逃れ、高杉晋作の弟子となりました。こうした経緯から、田中光顕と片山東熊の間には親交があったと思われる。

田中光顕は、その後明治政府に出仕し、内閣書記官長、警視總監、学習院院長などの要職を歴任した後、明治31年2月に宮内大臣に就任しました。田中宮内大臣は、同年8月に宮内省の中に東宮御所造営職を設置し、その技監に片山東熊を任命しました。こうして、西洋宮殿風の東宮御所を建設するという片山東熊の長年の念願が実現するに至ったのです。

明治4年（^{かのとひつじ}辛未）1月27日辞令



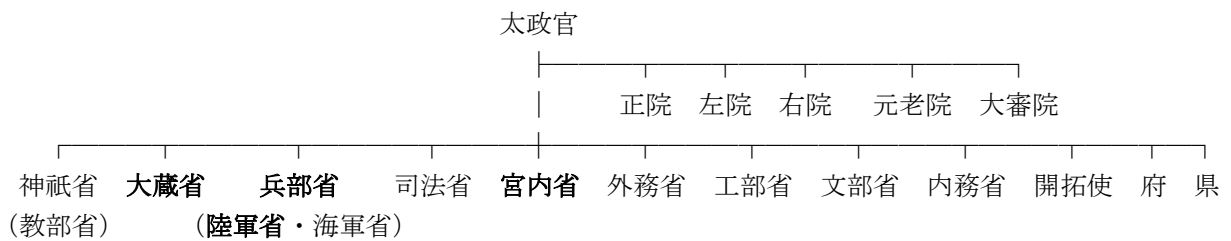
正七位
守監督正
藤原朝臣
光顕

右大臣
従一位
藤原朝臣
(三条) 実美
宣

大辨 (だいべん)
従三位
藤原朝臣

奉行
俊政 (としただ)
(坊城) 俊政 (ぼうじょう)

明治4年7月制定 (太政官制II)



明治4年7月の主な人事

- [太政大臣] 三条実美 [右大臣] (欠員、後岩倉具視)
- [参議] 木戸孝允、西郷隆盛、板垣退助、大隈重信
- 神祇省 [卿] (欠員) [大輔] (欠員) 大蔵省 [卿] 大久保利通 [大輔] 井上馨
- 兵部省 [卿] (欠員) [大輔] 山県有朋
- 司法省 [卿] (欠員、後江藤新平) [大輔] 佐佐木高行
- 宮内省 [卿] (欠員) [大輔] 万里小路博房
- 外務省 [卿] 岩倉具視 [大輔] 寺島宗徳 工部省 [卿] (欠員) [大輔] 後藤象二郎
- 文部省 [卿] 大木喬任 [大輔] 江藤新平
- 開拓使 [長官] 東久世通禧 [次官] 黒田清隆 東京府 [知事] 由利公正

官の種類	等級	位階	月給円	太政官 正院	元老院	省	一等寮	二等寮	三等寮	一等司	二等司	陸海軍
勅任官	1等	一位 二位 三位	800 600 500	太政大臣 左右大臣 参議一	議長 副議長 議官	卿						大将
	2等	四位	400			大輔						中将
	3等	五位 正位	350	大内史		少輔	頭					少将
奏任官	4等	五位 従位	250	権大内史・大外史	大書記官	大丞	権頭	頭				大佐
	5等	六位 正位	200	権大外史・少内史	権大書記官	少丞	助	権頭	頭			中佐
	6等	六位 従位	150	権少内史・少外史	少書記官		権助	助	権頭	正		少佐
	7等	七位 正位	100	権少外史	権少書記官			権助	助	権正	正	大尉
判任官	8等		70	大主記	大書記生	大録	大属、大技師			大令史		中尉
	9等		50	権大主記	権大書記生	権大録	権大属、中技師			権大令史		少尉
	10等		40	中主記	少書記生	中録	中属、少技師			中令史		少尉補
	11等		30	権中主記	権少書記生	権中録	権中属、大技手、大手			権中令史		曹長
	12等		25	少主記		少録	少属、中技手、中手			小令史		軍曹
	13等		20	権少主記		権少録	権少属、少技手、少手			権小令史		伍長
	14等		15	大舍人		筆生	史生、大技生、技術心得					
15等		12			省掌	寮掌、中技生、技術見習						

三菱財閥 岩崎家



岩崎彌太郎（三菱初代）

- ◆土佐商会→海援隊→九十九商会
→三菱商会
- ◆西南の役、陸軍物資輸送で富を得る



岩崎彌之助（2代・弟）

- ◆日本銀行頭取
- ◆日本刀剣会資金援助
- ◆田中伯に久弥の仲人を依頼
- ◆明治 35 年 渋沢氏と欧米視察



岩崎久彌（3代・長男）

- ◆田中伯媒酌人
- ◆上野岩崎家本邸建設
洋館設計 J・コンドル
棟梁大河喜重郎（→蕉雨園）
- ◆別荘・三養荘建設（伊豆長岡）
- ◆多摩聖蹟記念館 財政援助



岩崎小彌太（4代・甥）

- ◆静嘉堂文庫美術館

高額所得者番付表

”俸給”ではありませんが、高額所得者の年収を紹介します。
明治20年の数字です。元大々名と、新興財閥が多いです。

順位	高額所得者	年収	備考
1	岩崎久弥	696,596円	三菱財閥(弥太郎の子)
2	岩崎弥之助	250,664円	三菱財閥(弥太郎の弟)
3	毛利元徳	173,164円	元長州藩主
4	前田利嗣	145,543円	元加賀藩主
5	原 六郎	117,062円	但馬出身の実業家(帝国ホテルの設立者)
6	島津忠義	111,116円	元薩摩藩主
7	細川護久	98,354円	元肥後藩主
8	渋沢栄一	97,316円	実業家(第一国立銀行の設立者)
9	住友吉左衛門	77,351円	住友財閥
10	徳川茂承	74,842円	元紀伊藩主
11	徳川義礼	72,586円	元尾張藩主
12	池田章政	71,190円	元岡山藩主
13	平沼専蔵	61,670円	横浜の実業家
14	鴻池善右衛門	60,354円	大坂の巨商
15	浅野長勲	57,240円	元広島藩主
16	松平頼聡	57,153円	元高松藩主
17	山内豊景	53,920円	元高知藩主
18	茂木惣兵衛	53,022円	高崎出身の実業家(松坂屋の創始者)
19	藤堂高潔	52,285円	元津藩主
20	久次米庄三郎	52,131円	阿波の藍商・材木商
21	黒田長成	51,233円	元福岡藩主
22	原善三郎	51,211円	横浜の実業家(現横浜銀行の設立者)
23	鍋島直大	50,591円	元佐賀藩主
24	本間光輝	50,096円	出羽の大地主

土佐の浪人の子の岩崎弥太郎は、明治維新・廃藩置県・台湾出兵・西南戦争などで巨万の富をなし、明治18年に没しました。巨万の富は、子と弟が分割しました。

明治20年の国家予算は8816万円ですが、岩崎両家の年収はその1%を超えています。

【参考資料】 童門冬二監修、「幕末・維新のしくみ」、日本実業出版社、1998

天皇家の財産 出典：「天皇家の経済学」 吉田祐二著

大正初期				昭和20年GHQ発表		
	会社名	株数	払込金額 (円)	会社名	株数	払込金額 (円)
1	日本銀行	140,825	17,644,000	日本銀行	208,200	20,800,000
2	横浜正金銀行	121,200	7,567,500	横浜正金銀行	209,318	21,550,231
3	日本興業銀行	10,100	505,000	日本興業銀行	45,450	1,450,312
4	台湾銀行	10,088	630,500	台湾銀行	30,264	1,891,000
5	朝鮮銀行	1,000	100,000			
6	十五銀行	12,222	388,875	帝国銀行	29,000	1,280,140
7	北海道拓殖銀行	134	6,700			
8	日本郵船会社	161,100	5,034,375	日本郵船会社	161,100	8,260,534
9	大阪商船会社	4,500	168,750			
10	北海道炭礦汽船	40,515	1,748,850	北海道炭礦鉄道	153,976	6,700,200
11	日清汽船会社	108	5,400			
12	富士製紙会社	10,000	387,500	王子製紙	60,608	3,582,150
13	台湾製糖会社	19,800	717,750	台湾製糖会社	39,600	1,980,000
14	東京電燈会社	11,921	535,230	関東配電	34,750	1,737,950
15	東京瓦斯会社	4,000	116,000			
16	東洋拓殖会社	5,000	250,000	東洋拓殖会社	50,000	1,875,000
17	帝国ホテル	4,400	137,500	南満州鉄道	84,375	3,290,562
				他17社		13,615,504
	計	556,913	35,943,930	計		88,013,583
		時価	175,200,000		時価	不明
				GHQによって発表された皇室財産 (千円)		
	財閥の所有の有価証券			(1) 現金及び有価証券		336,158
	三井	3億9000万円		内訳	現金	24,786
	岩崎	1億7500万円			内国債	138,221
	住友	3億1500万円			地方債	26,347
					社債	58,546
					株式	87,983
					その他	275
				(2) 土地		362,293
				(3) 林材		592,865
				(4) 建物		299,296
					合計	1,590,612
	戦時中1円 ⇒ 現在約5000円			15億9000万円 ⇒ 約8兆円		

天皇財閥と他の財閥の構造

